平成17年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 提案機関名 フラワーセンター大船植物園

8 1

記入不要

要望問題 低夜温管理に適合するバラ台木の育成

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】

切りバラ栽培の冬期の夜温管理は、16~17 と高く、経営において燃料費が大きな負担となっている。

となっている。 常緑のナニワバラを台木にするとノイバラ台より冬期の落葉が少ないことが明らかになって おり、ノイバラ台より低い温度での栽培の可能性を示唆しているが、初期生育が不良で実用化 されていない。

低夜温管理に適合するバラ台木が育成されれば、切りバラ栽培の経営が改善されるばかりでなく、СО2の発生が抑制され、環境に負荷の少ない農業の推進にも役立つ。また、このような台木をガーデンローズに使用すれば、春の開花の前進や秋冬期の開花の延長も期待され、ガーデンローズの普及に寄与する可能性も考えられる。

このような背景を踏まえ、低夜温管理に適合するバラ台木の育成についての取組をお願いしたい。

解決希望年限 1年以内 2~3年以内 4~5年以内 <u>5~10年以内</u>

研究対応区分 研究所対応 委託研究 共同研究 その他

農業総合研究所 (根府川試験場 三浦試験場 津久井試験場) 畜産研究所 水産総合研究所 (内水面試験場 相模湾試験場)

自然環境保全センター

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業総合研究所

部署: 生物資源部

对応区分 実施 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可

試験研究課題名 (、 、 の場合)

かながわらしい特産品の開発(花き類の新品種育成)

対応の内容等

る研究機関名

バラの営利栽培の加温温度は 17 ~ 18 で、経営的に燃料費は大きな負担となっています。しかしながら、経費節減を目的に加温温度を下げると、生育が遅くなり、採花本数が低下します。一般的に土耕のバラの栽培では、ノイバラの台木を用います。ナニワイバラは中国原産の常緑のバラで、ノイバラ台のものに比べて冬期の下葉の落葉が少ないと言われております。しかしながら、ナニワイバラは結実することが極めて少なく、1果当たりの種子数も少なく、発芽もほとんどしません。そのため、苗生産効率が悪く、実用的な台木としては普及していないのが現状です。

農業総合研究所では、従前より生産性の高い台木の検討を行っております。ナニワイバラについては、テリハノイバラとの種間雑種を用いて生産性の検討を行ってきました。今後は、低夜温管理に適合するバラ台木の育成も考慮に入れて、台木の育成を行っていきたいと考えております。

解決予定年限 1年以内 2~3年以内 4~5年以内 5~10年以内

<u>備</u>考